

2024 年 9 月
No. 471 号

第32回 元気が出る森松展

2024.

9.12~13

(木)

(金)

10:00~17:00

森松本社 5F



#LOVE PLASTIC

～艶美なコレクション～

PVCs collection

展示会の詳細は森松ホームページの【お知らせ】よりご覧ください！

森松 HP



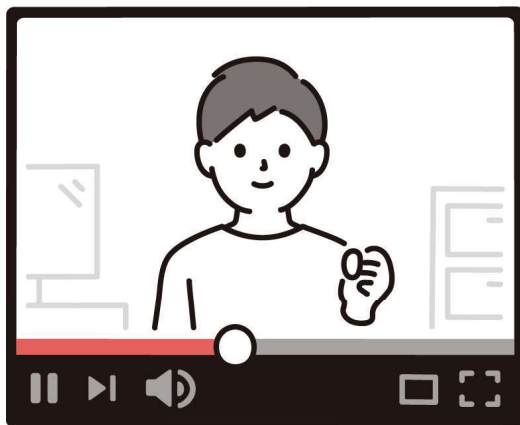
www.morimatsu.com

動画で伝わるもの

森 直樹（代表取締役社長）



猛暑が続いております。名古屋の猛暑日の連続記録が 20 日を超え 82 年ぶりの記録更新とのこと、ということは昔もこれだけ暑い夏があったのかと意外な印象ですが、とにかく暑い……。健康面でも重大な影響のあるこの暑さは、果たして慣れるものなのか非常に不安なところがあります。天候の話題はさておき、自身の生活において動画を見る機会が増えております。また調べ物で動画から検索することもあります。例えば時計の電池交換をやってみようとする際、例えばピザ生地を作ってみようとする際、写真を何コマか撮影し解説が書かれたものを読んでいくのと、動画で字幕と音声が付いて解説されたものを比較すると、情報量はさほど変わらないかもしれませんが、理解しやすさは動画のほうが圧倒的に高いと思います。そういった動画の伝わりやすさを踏まえると、作業マニュアルも動画を撮り作成したり、パソコン上の事務作業も画面をそのまま録画しマニュアルとすることが可能です。動画の利点は伝わりやすさ（理解しやすい）と、文字情報も同時に入れ込めることでしょう。また再生速度を調整することで見る人のペースに合わせて流すこともできます。かつて写真は記念に撮るものだったのが、携帯電話付きのカメラの普及でメモ書き代わりに写真を撮れるほど手軽になり、そして今や動画も気軽に撮られ、かつ共有しやすい環境が整ってきました。今後もより多くの情報を伝えるための手段として、活用していきましょう。





1メートルが入らない。ゴルファーならどなたも経験すると思います。楽しい悩みですが、悩んでいます。私は、飛距離が出ない年寄りゴルファーなので、スコアメイクは、アプローチとパターなのですが、グリーンが重くなる時季になると打ちきれず、カップに入らなくなります。自分では強く打っている感覚なのですが、ショートすることが多くなり、強く打てば、引っかけてしまい、左に外れます。ゆっくり引き、ゆっくり出すが、守られず、リズムが狂ってしまいます。自宅にある練習マットでの練習では、パーフェクトに入るのですが、ラウンドでは上手いきません。この時期になると、昔使用していたパターに戻したり、もっと古いパターを使っています。プロのトーナメントで、グリーンの映像が映し出され、ボールが、グリーン奥に着いてしまい、下りラインが残り、これは難しいパットだと思い、見ていると強めに打ってカップイン。難しさを知っているので、プロの凄さを感じます。もちろんですが、プロのトーナメントでは、私達がプレイするグリーンよりも速くて、とても難しいです。女子ゴルフでもやはり飛距離が出ないプロもいます。代表なのは、青木瀬令奈です。トーナメントには6本以上のパターから使うパターを決めているそうです。グリーンコンディションや体調、その週のストロークのクセなどでパターを替えるそうです。パターも大きく分けると3種類でマレット型・浅重心・センターシャフト。ちなみに女子プロランキングは、パッティング：12位【1.7714】飛距離：81位【228ヤード】1メートルでも300ヤードでも1打。ゴルフは、難しいですね。



生かせるものは何でも生かす精神と発想力

伊東 郁二（特販部）



テレビで「JR 東海の変革」を見て大変興味を持った。「頭の良い人や素晴らしい発想をする人はたくさんいるものだ・・・」と思う反面、これを形にして最初に挑戦する勇気、実行力に感動した。1987年にスタートしたJR 東海は、鉄道部門の約9割を新幹線で稼ぐ巨大企業。そんな企業でさえも「コロナ要因」で乗客激減となり、「発足以降初めての赤字（2,000億円以上）」を計上したそうだ。私も、貸し切りの様な車両を目の当たりにしている。この危機に直面した現社長 丹羽氏は、前例に無い、あり得ない積極的なチャレンジを推奨し、大改革を実現化している。それは、「新幹線」の「貸し出しサービス」、「貸し切り車両パッケージ」で想像を絶した。結婚式・商品発表会・プロレス・一流料理人が振る舞う「おいしい新幹線」。この流れをつかむと、グルメ雑誌などの異業種とのコラボ企画。「推し活旅」、「人気アニメ旅」から「象」のオーナー仰天プランの売り出し・・・。



やっていくうちに広がってきていることが想像できる。高架下の土地を有効活用する「住居」の取り組みまでくると、ようやく、私の頭もTVについていくことが出来た。『生かせるものは何でも生かす精神』で、社員のやりたい声を実現化し、収益拡大を狙う姿勢は勉強になった。「リニア中央新幹線」のJR 東海からは到底、予測も出来なかった。私も、目の前のできることから挑戦していきたいと心が動かされました。

豊田おいでんまつり

西垣 浩司（製造部）



先月、家族で初めて豊田市の豊田おいでんまつりへ行ってきました。豊田市で毎年開催されている豊田おいでんまつりは、地元の伝統や文化を楽しむためのイベントとして親しまれているそうです。地元住民だけではなく多くの観光客も訪れて賑やかな雰囲気が漂っていて様々な演目や出店が楽しめますので、豊田の文化や伝統を身近に感じる機会でもあり、子供から大人まで楽しめるイベントが盛り沢山で家族揃って屋台（きゅうりの一本漬け、冷やしパイン、ステーキ串、ビックたこ焼き等々）の盛り沢山なグルメを楽しむことが出来るし祭り気分を満喫することが出来ます。豊田おいでんまつりのフィナーレを飾るのにふさわしい花火大会があるのが魅力の一つです。花火が夜空に咲き誇る様子は美しい色です。また、場所取りや持ち物の準備も忘れずに。花火が始まる前から会場に到着して周囲の雰



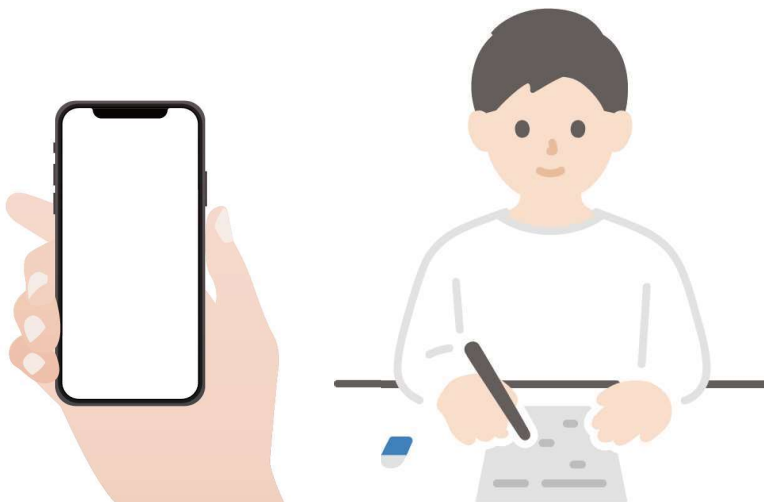
囲気を楽しみながら待つことも大事であり、また花火師によって作品（手筒花火、ナイアガラ、大瀑布）などの演出（音楽・ストーリー）も観客を引き込む要素の一つ手で、そして、花火が打ち上がる瞬間には、目を輝かせてその美しさを堪能することも大切であり、一瞬一瞬が貴重な時間でもあり、他にも地域の特産物やグルメも楽しめるのも魅力的であった。流石に夜空を見ながら家路に向かうときは虚しかった、来年も・・・。

5年ぶりの新調

丹羽 義直（企画営業部）



5年間という長いこと使ってきたiPhoneがついに限界に近づいてきたので、完全に壊れてしまう前にiPhone15Proを購入しました。本音としては9月の新作発表も気になりましたが、恐らくそこまではもたないだろうな…という状態でした。前職では、スマホが壊れてから換えにいらっしゃるお客様が割と多く、そうなると電話帳をはじめ写真や動画、LINEのやりとりなど大事な物が引き継げない!なんてことが…。意外としている人が少ないおすすめ対策として「よく電話をする人の電話番号はメモって財布に入れておく」「大事な写真は現像しておく」「動画はBlu-rayに焼く」などアナログな方法です。時代と逆行しているように感じる



るかもしれませんが、物理的な対策は今でも有効ですね。どれもスマホ紛失の際にとっても役立ちますので。デジタル化が大きく進んでいる昨今ではございますが、アナログも併用することで有事の際の助けになったりすることもありますので、是非この機会に試してみたいかがででしょうか。

井 災害に備える 9月1日は

防災の日

自分を・家族を守る為、災害に備えられていますか？

持ち出しカバンだけじゃない！普段使いのカバンに混ぜるだけでも効果的！

- ◆水 500mL 程度 ◆手軽に食べられる物（お菓子など）◆モバイルバッテリー
- ◆小型のライト◆現金 ◆身分証 ◆衛生用品（マスク・除菌シート・汗拭きシート等）
- ◆ドライシャンプー◆アルミブランケット
- ◆個別に必要な物も（メガネ・補聴器・常備薬など）



避難場所の確認も忘れずに！！

市町村によりペットの受け入れ可 / 不可もあります、調べておくのも備えの内です！

まだの人は今すぐ！ 備えている方は改めて確認を！

ロストバゲージ

山田 圭子（森松産業）



7月後半に次男がフランス、イタリアに旅行に行きました。出発当日、友人との待ち合わせ場所に送っていく時の次男の足元は、靴ではなくゴムサンダル…。「靴も必要だからスーツケースに入れていったら？」と言っても「いらない」と…。今どきの若者はサンダルで海外に行くのかとビックリしました。旅費を少しでも安くしようと上海で乗り換え、待ち時間が5時間と聞き、若さとはすごいなあと感じました。フランス滞在中はエッフェル塔、凱旋門、美術館、宮殿等々沢山の写真が送られてきて、とても楽しんでいるようでした。オリンピック開催直前ということもあり、囲われて近くに行けない場所もあったようです。フランスで数日過ごし、次はイタリアへ。飛行機で移動し、荷物が出てくるのを待っていましたが出てこない…。ラインで「キャリーケースがなくなった」と連絡がありました。誰かが間違えて持って行ってしまったのか、飛行機の出発までに積み込み出来なかったのかと色々考え、「海外で大変な事になってるなあ、大丈夫だろうか」と言う親の気持ちとは違い「まあ出てくるのを待つしかない」という言葉で終わってしまいました。イタリアでの数日間は友人に服を借り、日中は観光をしてホテルについたら洗濯をしてという感じで過ごしていたそうです。イタリア滞在中であればホテルまで届けてくれるそうですが、結局届くことはありませんでした。トレヴィの泉、コロッセオ、ピサの斜塔、ベネツィア等しっかり観光は出来た様で満足そうでした。お土産は友人のキャリーケースに入れさせてもらいイタリア→上海→日本と行きと同様に飛行機を乗り継いで帰ってきましたが、ここで最後のトラブル。上海から日本の飛行機で今度は友人のキャリーケースがロストバゲージ。流石に「ありえない」と呆れていました。帰ってきた次男は肩掛けの小さいカバンに手提げ、友人の服を着てサンダルという海外に行ったとは思えない荷物の量でした。帰国から4日後、友人のキャリーケースは無事戻りましたが、次男のキャリーケースは未だに帰ってきません。ほぼ諦めていますけど忘れた頃に送られてくるのでしょうか。